

I 9月補正予算案の主な施策

1 くらしの安全・安心の確立

- 全国で、子どもが巻き込まれる悲惨な事件・事故や、高齢運転者による重大な事故が発生していることから、緊急的な安全対策を実施します。
 - ・ 子どもが利用する交差点について県独自に実施した緊急点検の結果を踏まえ、車止めポールやガードレールを設置するとともに、横断歩道の補修などを行います。
 - ・ 学校における安全教育や、高齢運転者等に対する交通安全啓発を強化します。
- 犯罪の予防や発生時の迅速な対応を図るため、来年度に駅周辺の繁華街に防犯カメラを増設するほか、全ての交番に防犯カメラを整備できるよう、債務負担行為を設定します。
- 災害時における緊急車両の通行を確保するため、踏切の除却を進める連続立体交差事業の事業費を増額し、早期完成を目指します。

・交通安全施設整備事業	294,000千円（14頁）
・子ども・高齢者交通事故防止等緊急対策事業【新規】	92,500千円（14頁）
・街頭防犯カメラシステム整備事業	債務負担行為 331,000千円（15頁）
・交番用防犯カメラ緊急整備事業	6,500千円（15頁）
	債務負担行為 102,000千円
・街路整備事業（東武野田線連続立体交差事業）	962,771千円（15頁）

※債務負担行為…翌年度以降に支出を予定している経費について、年度内に契約ができるよう、県が将来の債務を約束することを予算で定めておくもの。

2 子ども・子育て世代への支援の充実

- 児童虐待対策について、初期対応の体制や要保護児童の受入体制を強化します。
 - ・ 虐待事案において、子どもの安全確保に従事する警察本部の警察官を本年9月中に増員するとともに、必要な車両を整備します。また、市川・柏児童相談所にも警察官を配置し、児相と警察との連携を強化します。
 - ・ 旧青少年女性会館へ移転する中央児童相談所について、移転後も現在の庁舎を暫定的に一時保護所として活用することとし、生活環境の改善を図るための修繕等を行います。
 - ・ 児童養護施設等における人材確保と要保護児童の受入体制を強化するため、児童指導員等を目指す方を雇用する施設に対し、助成します。
 - ・ 野田市の女兒虐待死亡事件において、家庭内のDVが事態の深刻化の一因ともみられることから、DVの早期発見・未然防止に向けた広報・啓発を拡充します。
- 市町村が行う保育士確保の取組を促進するため、保育士登録者の就業状況や、保育所等における保育士定着の取組等に関する調査を行います。
- 特別支援学校の過密解消のための校舎棟新設工事や、県立学校の長寿命化を図るための改修工事等について、来年度早期に着手できるように、債務負担行為を設定します。

・児童虐待対応への体制強化	19,000千円（17頁）
・児童相談所施設等整備事業	10,000千円（17頁）
・児童養護施設等体制強化事業【新規】	31,940千円（17頁）
・DV防止に関する広報・啓発	10,000千円（18頁）
・保育士就業促進事業【新規】	10,000千円（18頁）
・特別支援学校整備事業	債務負担行為 1,978,000千円（18頁）
・県立学校長寿命化対策事業	債務負担行為 4,320,000千円（19頁）

3 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした活性化

- 開催まで1年を切った東京オリンピック・パラリンピックを、「オール千葉」で盛り上げるための取組を進めます。
 - ・ 本県開催競技を中心に、県内の児童・生徒が大会を観戦できるよう、組織委員会から配分される「学校連携観戦チケット」を購入し、次世代を担う子どもたちの国際感覚やスポーツを楽しむ心を育みます。
 - ・ 大会開催にあわせ、国内外から本県を訪れる選手や観客を歓迎するため、主要な道路、駅、公共施設等を大会のエンブレムやマスコットを活用した横断幕やのぼり等で装飾します。
 - ・ 聖火リレーを円滑に運営するとともに、実施にあわせて本県の豊かな自然や歴史・伝統文化、活気あふれる都市などの魅力をアピールするため、ルート周辺の装飾や沿道警備、セレモニー等の準備を進めます。

- ・ 東京2020大会競技観戦支援事業【新規】 債務負担行為 197,000千円 (20頁)
- ・ 東京2020大会シティドレッシング(都市装飾)事業【新規】
債務負担行為 40,000千円 (20頁)
- ・ 聖火リレー準備・運営事業 26,000千円 (20頁)
債務負担行為 530,000千円

4 農林水産業の振興

- 農業用ハウスの災害被害を防止するため、農家が行う補強対策等の経費に対して支援するとともに、日常的な保守管理を行うためのマニュアル作成や講習会を開催します。
- 水産総合研究センターの再編整備において、種苗生産プラントの効率的な整備を進めるため、施設規模や事業費等に関する調査を実施します。また、ノリ養殖において、生長途中で切れてしまう現象が生じていることから、その原因を調査し、有効な対策を検討します。

- ・ 農業用ハウス強靱化緊急対策事業【新規】 37,200千円 (21頁)
- ・ 水産総合研究センター再編整備事業【新規】 2,400千円 (21頁)
- 債務負担行為 50,000千円
- ・ ノリ養殖振興緊急対策事業 3,000千円 (21頁)

5 医療の充実

- ICUを担当する医師をサポートするため、中核病院の専門医が関係病院の医師に対し、オンラインで指導や助言を行うことができるよう、ネットワークシステムの整備について助成します。

- ・ T e l e - I C U体制整備促進事業【新規】 60,000千円 (22頁)

6 文化施策の推進

- 県立図書館と県文書館の複合施設を、知識や情報を発信する「知の拠点」として新たに整備するための調査等を実施します。

- ・ 新県立図書館等複合施設整備事業 31,500千円 (22頁)